

報告事項 2

平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験の志願状況について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成25年6月3日

教 職 員 課

平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験の志願状況について

1 志願状況

受験区分	採用予定者数 (A)	志願者数 (B)	倍率 (B/A)	元教諭・ 講師経験者 特別選考	現職教諭 特別選考	社会人 特別選考	芸術・ スポーツ 特別選考	障害者 大学推薦 特別選考	教職大学 院修了見 込者特別 選考	大学院 進学によ る採用辞 退者に対 する特別 選考	大学推薦 特別選考	前年度最終志願者数		
				志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	志願者数 (内数)	採用予 定者数 (A)	志願者数 (B)
小学校教諭	約 700 人	2,835 人	4.1 倍	255 人	46 人	21 人	9 人	1 人	25 人	14 人	— 人	750 人	2,867 人	3.8 倍
中学校教諭	約 330 人	2,605 人	7.9 倍	160 人	12 人	25 人	14 人	1 人	7 人	11 人	32 人	390 人	2,842 人	7.3 倍
高等学校教諭	約 360 人	2,575 人	7.2 倍	93 人	45 人	20 人	31 人	0 人	5 人	9 人	—	330 人	2,586 人	7.8 倍
特別支援学校 教諭	約 110 人	646 人	5.9 倍	67 人	15 人	—	7 人	3 人	0 人	0 人	1 人	130 人	679 人	5.2 倍
養護教諭 (小中)	約 50 人	446 人	8.9 倍	40 人	2 人	—	1 人	0 人	0 人	0 人	—	50 人	428 人	8.6 倍
養護教諭 (県立)	約 10 人	103 人	10.3 倍	12 人	0 人	—	0 人	0 人	0 人	0 人	—	10 人	113 人	11.3 倍
栄養教諭	約 10 人	114 人	11.4 倍	1 人	2 人	—	0 人	0 人	0 人	0 人	—	10 人	130 人	13.0 倍
計	約 1,570 人	9,324 人	5.9 倍	628 人	122 人	66 人	62 人	5 人	37 人	34 人	33 人	1,670 人	9,645 人	5.8 倍

2 志願状況の特徴

(1) 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭の志願者が減少。志願者全体で前年度比321人減。

小学校教諭は前年度比32人減、中学校教諭は、前年度比237人減、高等学校教諭は、前年度比11人減、特別支援学校教諭は、前年度比33人減であった。

また、養護教諭（小中）は前年度比18人増であったが、養護教諭（県立）、栄養教諭は、前年度と比べて減少した。

(2) 芸術（音楽・美術）・スポーツ特別選考志願者62人

芸術（音楽・美術）・スポーツ特別選考については、志願者は62人（前年度比16人減）であった。秀でた技能や実績、多彩で豊富な経験を有する人材が集まった。

(3) 社会人特別選考志願者66人

社会経験を活かし、学校の活性化を図るために導入された社会人特別選考には、66人（昨年度比20人減）の志願者があった。受験区分別では、小学校21人、中学校25人、高等学校20人であった。

(4) 元教諭・講師経験者特別選考志願者628人、現職教諭特別選考志願者122人

元教諭・講師経験者特別選考と現職教諭特別選考には合計で750人（昨年度比49人増）の教職経験豊富な人材が集まった。

(5) 外国語堪能者選考志願者45人

外国語堪能者選考には、前年度比21人減の45人の志願者があった。外国語別では、ポルトガル語が6人、スペイン語が20人、中国語が19人であった。

(6) 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考志願者34人

大学院進学による採用辞退者に対する特別選考の志願者数は前年度比5人減の34人の志願者があった。

(7) 障害者選考志願者18人

障害者大学推薦特別選考5人（小学校教諭1人、中学校教諭1人、特別支援学校教諭3人）を含めて、障害者選考志願者は、小学校教諭4人、中学校教諭2人、高等学校教諭2人、特別支援学校教諭10人であった。

(8) 教職大学院修了見込者特別選考志願者37人

今年度新たに導入した教職大学院修了見込者特別選考志願者は、小学校教諭25人、中学校教諭7人、高等学校教諭5人であった。

(9) 大学推薦特別選考志願者33人

「中学校教諭・数学」「中学校教諭・理科」「中学校教諭・技術」「特別支援学校教諭・技術」「特別支援学校教諭・工業（機械）」において、今年度新たに導入された大学推薦特別選考志願者は、中学校教諭32人、特別支援学校教諭1人であった。

○ 試験会場

- ・ 第1次試験1日目 平成25年7月20日（土） 愛知県立旭丘高等学校始め12会場の予定
- ・ 第2次試験1日目 平成25年8月20日（火） 愛知県立明和高等学校始め15会場の予定
- ・ 第2次試験2日目 平成25年8月21日（水） 愛知県立名古屋南高等学校始め16会場の予定

3 多彩な選考方法等の実施

① 芸術（音楽・美術）・スポーツ特別選考

「一般選考」の受験資格に加えて、芸術（音楽・美術）の分野又はスポーツの分野において次の要件を満たす人。なお、受験区分は問わない。書類選考により第1次試験を免除する。

(1) 芸術分野

音楽又は美術の分野において、次のいずれかに該当する人（小・中学校における実績は除く。）

- ア 国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた人
- イ 全国レベルのコンクール、展覧会等で最優秀相当の成績を収めた人

(2) スポーツ分野

スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人

- ア 国際規模の競技会等に日本代表として出場した人
国際規模の競技会等とは、オリンピック競技大会、ユニバーシアード競技大会、アジア競技大会及び原則としてオリンピック実施競技を統括する国際競技連盟が主催する世界選手権大会等
- イ 全国規模の競技会等において優勝した人（小・中学校における実績は除く。）

全国規模の競技会等とは、国民体育大会及び（公財）日本体育協会又は（公財）日本オリンピック委員会の加盟団体が主催する全日本選手権大会等

② 英語有資格者特別選考

「中学校教諭・英語」、「高等学校教諭・英語」及び「特別支援学校教諭・英語」の受験区分・教科について実施する。「一般選考」の受験資格に加えて、次のいずれかの要件を満たす人。書類選考により第2次試験の実技試験を免除する。

- ア TOEFL(国際教育交換協議会実施)において、P B T580 点以上、又は i B T92 点以上(平成23年7月以降の得点に限る。)人
- イ TOEIC ((財)国際ビジネスコミュニケーション協会実施)において、860 点以上(平成23年7月以降の得点に限る。)を取得した人
- ウ 実用英語検定((財)日本英語検定協会) 1 級を、平成23年7月以降に取得した人

③ 元教諭・講師経験者特別選考

一般選考の受験資格に加えて、次の(1)及び(2)の要件を満たす人は、書類選考により第1次試験を免除する。

- (1) 平成25年4月1日以降に、愛知県内の公立学校(名古屋市立を除く。)の職員(正規任用の教諭及び養護教諭を除き、非常勤講師等を含む。)として勤務し、出願時において所属長の推薦が得られた人
- (2) 次のア又はイにおいて、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人

ア 元教諭に対する勤務実績

平成25年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校又は公立学校で正規任用の教諭又は養護教諭としての勤務実績を有すること。

イ 講師経験者に対する勤務実績

平成18年4月1日から平成25年3月31日までの7年間において、愛知県内の公立学校(名古屋市立を含む。)で講師(非常勤の職にある者を除く。)又は養護教諭(正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。)としての勤務実績を有すること。

④ 介護理由退職者特別選考

「一般選考」の受験資格に加えて、次のすべての要件を満たす人は、書類選考により第1次試験を免除する。

ア 愛知県内の公立学校（名古屋市立学校を除く。）の正規任用教員（教諭・養護教諭・栄養教諭）であった人が、平成24年3月31日以降に、介護を理由にして退職し、出願時に退職校の校長が作成した「介護理由退職者特別選考証明書」の提出ができる人（退職時と同一校種、同一教科での出願に限る。）

イ 出願時に、退職日から3年以内の人

⑤ 現職教諭特別選考

「一般選考」の受験資格に加えて、国立大学法人が設置する学校又は公立学校で正規任用の教諭又は養護教諭の職にあり、平成25年4月1日現在において、3年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人は、書類選考により第1次試験を免除する。

⑥ 社会人特別選考

「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分並びに「高等学校教諭・数学」「高等学校教諭・理科」「高等学校教諭・工業」「高等学校教諭・看護」「高等学校教諭・福祉」及び「高等学校教諭・水産」の受験区分・教科について実施する。書類選考の後、第1次試験は、口述試験を行う。「高等学校教諭」については、出願時点で受験区分・教科に対する普通免許状を所有しなくても受験できるが、合格した後、その教科の特別免許状を申請し、取得することが必要となる。

⑦ 外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語）堪能者選考

「小学校教諭」、「中学校教諭」及び「特別支援学校教諭」の受験区分について実施する。第1次試験の口述試験に加えて、当該外国語による面接を行う。それ以外については、一般選考と同じ。

⑧ 障害者選考

選考試験の実施に当たり、試験の実施方法等について、障害の種類や程度に応じた配慮を行い、障害者の雇用の拡大に積極的に努める。

⑨ 障害者大学推薦特別選考

「一般選考」の受験資格に加えて、次のすべての要件を満たす人は、書類選考により第1次試験を免除する。

ア 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの人

イ 自力により通勤ができ、かつ、介助者なしに教員としての職務の遂行が可能な人

ウ 教員免許状取得のための課程許可を受けている愛知県内の大学（短期大学、大学院、教職大学院を含む）を卒業見込みの人、大学院及び専攻科に在籍している人、又は大学・大学院を卒業後5年以内かつ愛知県教員採用選考試験を受験したことのあ
る人で、大学の学長の推薦が得られた人

⑩ 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考

平成23年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成22年実施）を受験し、選考結果が「合格」で、大学院・教職大学院に
進学を理由として、辞退書を提出し、採用を辞退した人、平成24年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成23年実施）を
受験し、選考結果が「合格」で、大学院・教職大学院進学又は在学を理由として、辞退書を提出し、採用を辞退した人、又は平
成25年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成24年実施）を受験し、選考結果が「合格」で、大学院・教職大学院に在学
を理由として、辞退書を提出し、採用を辞退した人を対象とする。所定の手続きにより採用選考試験は第2次試験の口述試験の
み（平成23年度受験者は第2次試験の個人面接のみ）の選考とする。

⑪ 大学推薦特別選考

「中学校教諭・数学」「中学校教諭・理科」「中学校教諭・技術」「特別支援学校教諭・技術」「特別支援学校教諭・工業（機
械）」の受験区分・教科について実施する。「一般選考」の受験資格に加えて、次のすべての要件を満たす人は、書類選考によ
り第1次試験を免除する。

ア 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人

イ 受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学（短期大学、大学院を含む）を卒業見込み
の人で、在学する大学の学長の推薦が得られた人

⑫ 教職大学院修了見込者特別選考

「一般選考」の受験資格に加えて、次の要件を満たす人は、書類選考により第1次試験を免除する。

ア 現在、教職大学院に在籍し、平成26年3月31日までに修了見込の人

イ 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人